

メキシコ債券ファンド (毎月分配型)

【愛称:ラ・バンバ】

【運用報告書(全体版)】

第14作成期 (2019年8月27日から2020年2月26日まで)

第 **79** 期 / 第 **80** 期 / 第 **81** 期
決算日2019年9月26日 決算日2019年10月28日 決算日2019年11月26日

第 **82** 期 / 第 **83** 期 / 第 **84** 期
決算日2019年12月26日 決算日2020年1月27日 決算日2020年2月26日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてメキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2013年3月8日から2023年2月27日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてメキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 メキシコ・ボンド・ファンド (ディストリビューションクラス) メキシコの債券等 マネー・オープン・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、メキシコの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つアクシオネス・イ・パローレス・バナメックスが行います。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

メキシコ債券ファンド（毎月分配型）【愛称：ラ・バンバ】

■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
		(分配落)	税込分配金	期中騰落率			
第10 作成期		円	円	%	%	%	百万円
	55期(2017年9月26日)	6,593	35	1.4	0.2	90.8	3,222
	56期(2017年10月26日)	6,168	35	△5.9	0.2	91.0	3,048
	57期(2017年11月27日)	6,209	35	1.2	0.2	94.4	3,027
	58期(2017年12月26日)	5,916	35	△4.2	0.3	89.4	2,750
	59期(2018年1月26日)	6,006	35	2.1	0.3	94.8	2,704
第11 作成期	60期(2018年2月26日)	5,822	35	△2.5	0.3	94.7	2,574
	61期(2018年3月26日)	5,750	35	△0.6	0.3	90.8	2,458
	62期(2018年4月26日)	5,801	35	1.5	0.3	90.1	2,390
	63期(2018年5月28日)	5,555	35	△3.6	0.3	89.6	2,175
	64期(2018年6月26日)	5,480	35	△0.7	0.3	89.5	2,111
	65期(2018年7月26日)	5,870	35	7.8	0.3	93.9	2,229
第12 作成期	66期(2018年8月27日)	5,847	35	0.2	0.3	90.6	2,187
	67期(2018年9月26日)	5,801	35	△0.2	0.3	90.0	2,148
	68期(2018年10月26日)	5,570	35	△3.4	0.4	89.7	2,048
	69期(2018年11月26日)	5,132	35	△7.2	0.4	90.6	1,837
	70期(2018年12月26日)	5,318	25	4.1	0.4	90.0	1,847
	71期(2019年1月28日)	5,549	25	4.8	0.4	90.7	1,882
第13 作成期	72期(2019年2月26日)	5,587	25	1.1	0.3	94.0	1,859
	73期(2019年3月26日)	5,667	25	1.9	0.4	89.0	1,856
	74期(2019年4月26日)	5,643	25	0.0	0.4	90.0	1,790
	75期(2019年5月27日)	5,612	25	△0.1	0.3	90.5	1,755
	76期(2019年6月26日)	5,535	25	△0.9	0.5	90.2	1,657
	77期(2019年7月26日)	5,702	25	3.5	0.4	94.5	1,744
第14 作成期	78期(2019年8月26日)	5,492	25	△3.2	0.4	90.2	1,672
	79期(2019年9月26日)	5,670	25	3.7	0.4	90.3	1,712
	80期(2019年10月28日)	5,854	25	3.7	0.4	93.8	1,720
	81期(2019年11月26日)	5,718	25	△1.9	0.5	83.3	1,450
	82期(2019年12月26日)	5,902	25	3.7	0.5	88.8	1,443
	83期(2020年1月27日)	5,981	25	1.8	0.5	89.8	1,436
	84期(2020年2月26日)	6,015	25	1.0	0.5	94.9	1,408

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率
		円	騰 落 率		
第79期	(期 首) 2019年 8月26日	5,492	—	0.4	90.2
	8月末	5,423	△1.3	0.5	90.0
	(期 末) 2019年 9月26日	5,695	3.7	0.4	90.3
第80期	(期 首) 2019年 9月26日	5,670	—	0.4	90.3
	9月末	5,671	0.0	0.4	89.6
	(期 末) 2019年10月28日	5,879	3.7	0.4	93.8
第81期	(期 首) 2019年10月28日	5,854	—	0.4	93.8
	10月末	5,864	0.2	0.4	93.8
	(期 末) 2019年11月26日	5,743	△1.9	0.5	83.3
第82期	(期 首) 2019年11月26日	5,718	—	0.5	83.3
	11月末	5,697	△0.4	0.5	84.6
	(期 末) 2019年12月26日	5,927	3.7	0.5	88.8
第83期	(期 首) 2019年12月26日	5,902	—	0.5	88.8
	12月末	5,965	1.1	0.5	88.9
	(期 末) 2020年 1月27日	6,006	1.8	0.5	89.8
第84期	(期 首) 2020年 1月27日	5,981	—	0.5	89.8
	1月末	5,993	0.2	0.5	89.9
	(期 末) 2020年 2月26日	6,040	1.0	0.5	94.9

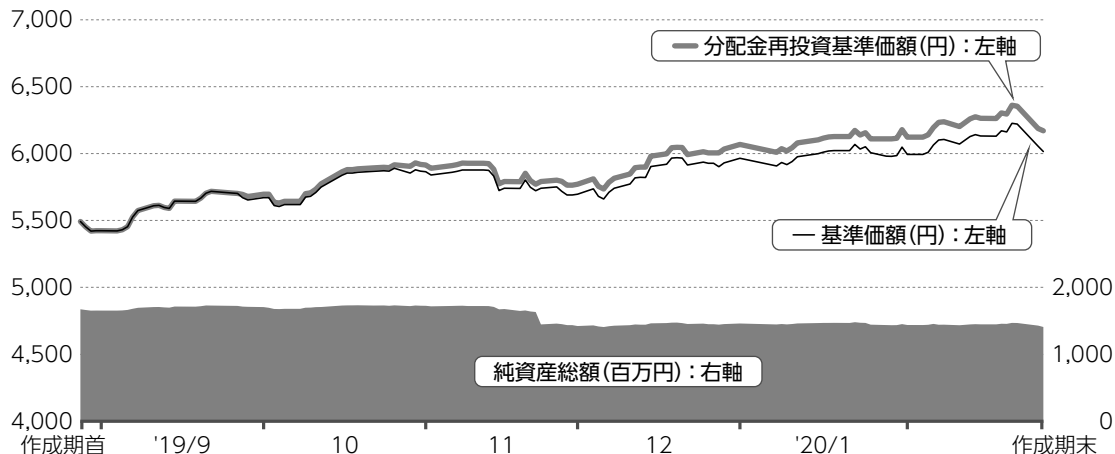
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2019年8月27日から2020年2月26日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	5,492円
作成期末	6,165円 (当作成期分配金150円(税引前)込み)
騰落率	+12.4% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因（2019年8月27日から2020年2月26日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として、メキシコの債券等に投資しました。また、対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- メキシコの国債利回りが低下（価格は上昇）したこと
- メキシコペソが対円で上昇したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	作成期末組入比率
メキシコ・ボンド・ファンド(ディストリビューションクラス)	外国債券	94.9%
マネー・オープン・マザーファンド	短期金融資産	0.7%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2019年8月27日から2020年2月26日まで）

当作成期のメキシコ債券市場は上昇しました。為替市場ではメキシコペソは対円で上昇しました。

債券市場

メキシコ国債利回り（10年国債）は作成期を通じて低下基調で推移しました。作成期首から米中貿易摩擦が緩和して市場のリスク選好姿勢が強まったこと（12月には米中貿易協議の第一段階の合意が発表されました）や、メキシコで低迷している経済を下支えするために中央銀行が利下げを継続するとの期待が高まったことなどから、メキシコ国債利回りは低下しました。中央銀行は、2019年9月、11月、12月、2020年2月と政策金利をそれぞれ0.25%ずつ引き下げ、2月の金融政策決定会合では7.00%としました。

高格付けの社債の信用スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は概ね横ばいで推移しました。

当作成期のJPモルガン・GBI-E Mブロードメキシコインデックス（現地通貨ベース）は、作成期首に比べて6.7%上昇しました。

為替市場

当作成期のメキシコペソは対円で上昇しました。

作成期初から、米中通商交渉が進展するとの期待から投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどがメキシコペソのサポート要因となり、概ね上昇基調で推移しました。12月には米国・メキシコ・カナダの3カ国がUSMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）修正案に署名したことなどが好感され、メキシコペソはさらに上昇しました。しかし、2020年2月下旬から作成期末にかけては、新型コロナウイルスへの警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まり、メキシコペソは下落しました。当作成期のメキシコペソ・円は、作成期首5円26銭から作成期末5円77銭と0円51銭のメキシコペソ高・円安となりました。

ポートフォリオについて（2019年8月27日から2020年2月26日まで）

当ファンド

「メキシコ・ボンド・ファンド(ディストリビューションクラス)」を高位に組み入れることにより、主としてメキシコの債券等に投資しました。また「マネー・オープン・マザーファンド」への投資を通じて安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

メキシコ・ボンド・ファンド(ディストリビューションクラス)

作成期初は、デュレーション(投資資金の平均回収期間)を短めにし、保守的な運用をしました。その後は米中の貿易摩擦が緩和さ

れ、投資家のリスク選好姿勢が強まると考え、デュレーションはやや長めとする運用を行いました。

メキシコ国債中心の運用を行いました。財務状況が健全で利回り面での魅力も高いと判断した社債も組み入れ、国債は約6割、社債は約4割との組入比率で推移しました。

マネー・オープン・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2019年8月27日から2020年2月26日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2019年8月27日から2020年2月26日まで）

当作成期の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、それぞれ25円といたしました

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	(0.439%)	(0.425%)	(0.435%)	(0.422%)	(0.416%)	(0.414%)
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	2,298	2,352	2,401	2,452	2,501	2,550

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き「メキシコ・ボンド・ファンド（ディストリビューションクラス）」を高位に組み入れることにより、主としてメキシコの債券等に投資します。

メキシコ・ボンド・ファンド（ディストリビューションクラス）

当作成期は米中通商交渉について第一段階の合意がまとまり、投資家のリスクセンチメントが改善されたことからリスク性資産が上昇する展開となりました。F R B（米連邦準備制度理事会）をはじめとする世界の中央銀

行は緩和的な金融政策を継続することが見込まれ、今後も世界的な低金利環境が続くと思われれます。このような環境下、相対的に高い利回りを求めてメキシコ債券市場には投資家の資金が流入することが期待されます。

一方で、今後、新型肺炎が世界経済に与える影響が顕在化してくることも考えられます。その点に注意を払いながら、市場環境に応じてデュレーションを調整していく方針です。

社債に関しては現状程度の組入れを維持します。

マネー・オープン・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細（2019年8月27日から2020年2月26日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	32円	0.553%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)
（投信会社）	(9)	(0.149)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(22)	(0.387)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.017)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.001)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	32	0.557	

期中の平均基準価額は5,768円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

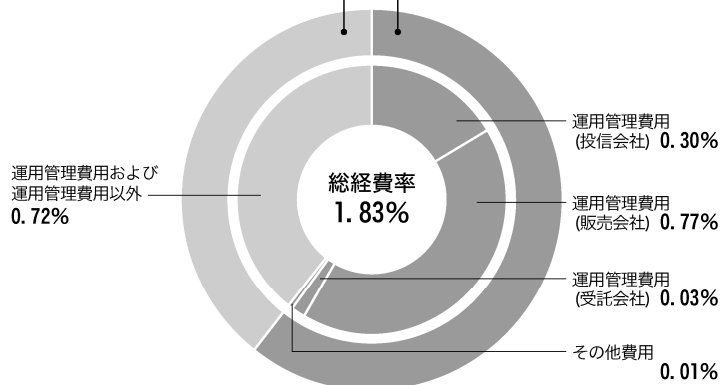
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「包括利益計算書」をご覧ください。

参考情報 総経費率（年率換算）

② 投資先ファンドの費用 0.72% ① 当ファンドの費用 1.11%



総経費率 (① + ②)	1.83%
① 当ファンドの費用の比率	1.11%
② 投資先ファンドの費用の比率	0.72%

メキシコ債券ファンド（毎月分配型）【愛称：ラ・バンバ】

- ※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- ※2の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- ※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は1.83%です。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2019年8月27日から2020年2月26日まで)

投資信託証券

		当作成期			
		買付		売付	
		口数	買付額	口数	売付額
国内	メキシコ・ボンド・ファンド（ディストリビューションクラス）	□ 540,436,352	千円 232,800	□ 1,102,216,705	千円 468,800
合計		540,436,352	232,800	1,102,216,705	468,800

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 利害関係人との取引状況等(2019年8月27日から2020年2月26日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況(2019年8月27日から2020年2月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2020年2月26日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首		作成期末	
	口数	口数	評価額	組入比率
メキシコ・ボンド・ファンド（ディストリビューションクラス）	□ 3,628,695,795	□ 3,066,915,442	千円 1,335,948	% 94.9
合計	3,628,695,795	3,066,915,442	1,335,948	94.9

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

メキシコ債券ファンド（毎月分配型）【愛称：ラ・バンバ】

(2) 親投資信託残高

種 類	作成期首		作成 期 末	
	口 数		口 数	
	千口		千口	
マネー・オープン・マザーファンド	9,994		9,994	
			千円	
			9,990	

※マネー・オープン・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は75,182千口です。
 ※単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2020年2月26日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,335,948	93.5
マネー・オープン・マザーファンド	9,990	0.7
コール・ローン等、その他	82,317	5.8
投資信託財産総額	1,428,255	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年9月26日) (2019年10月28日) (2019年11月26日) (2019年12月26日) (2020年1月27日) (2020年2月26日)

項 目	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末	第84期末
(A) 資 産	1,728,474,644円	1,734,090,002円	1,648,877,869円	1,457,618,122円	1,466,309,398円	1,428,255,344円
コール・ローン等	102,414,911	109,952,443	180,416,076	165,298,300	166,301,341	82,316,972
投資信託受益証券(評価額)	1,547,167,728	1,614,145,554	1,208,468,789	1,282,327,817	1,290,017,052	1,335,948,366
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	9,992,005	9,992,005	9,993,004	9,992,005	9,991,005	9,990,006
未 収 入 金	68,900,000	-	250,000,000	-	-	-
(B) 負 債	15,619,044	13,864,024	198,360,532	14,290,682	29,383,965	19,833,217
未払収益分配金	7,552,835	7,345,795	6,341,501	6,113,634	6,006,554	5,854,017
未払解約金	6,503,036	4,864,572	190,554,052	6,866,379	21,960,887	12,663,447
未払信託報酬	1,549,950	1,641,408	1,452,573	1,301,300	1,403,463	1,304,749
未 払 利 息	280	180	444	271	496	202
その他未払費用	12,943	12,069	11,962	9,098	12,565	10,802
(C) 純資産総額(A-B)	1,712,855,600	1,720,225,978	1,450,517,337	1,443,327,440	1,436,925,433	1,408,422,127
元 本	3,021,134,122	2,938,318,165	2,536,600,485	2,445,453,772	2,402,621,789	2,341,606,870
次期繰越損益金	△1,308,278,522	△1,218,092,187	△1,086,083,148	△1,002,126,332	△ 965,696,356	△ 933,184,743
(D) 受益権総口数	3,021,134,122口	2,938,318,165口	2,536,600,485口	2,445,453,772口	2,402,621,789口	2,341,606,870口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,670円	5,854円	5,718円	5,902円	5,981円	6,015円

※当作成期における作成期首元本額3,045,895,023円、作成期中追加設定元本額35,161,773円、作成期中一部解約元本額739,449,926円です。
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

メキシコ債券ファンド（毎月分配型）【愛称：ラ・バンバ】

■ 損益の状況

(自2019年8月27日 至2019年9月26日) (自2019年9月27日 至2019年10月28日) (自2019年10月29日 至2019年11月26日) (自2019年11月27日 至2019年12月26日) (自2019年12月27日 至2020年1月27日) (自2020年1月28日 至2020年2月26日)

項 目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
(A) 配 当 等 取 益	24,539,184円	23,851,906円	19,991,398円	18,975,698円	18,930,233円	18,644,224円
受 取 配 当 金	24,545,349	23,859,599	19,998,277	18,986,154	18,940,641	18,651,257
支 払 利 息	△ 6,165	△ 7,693	△ 6,879	△ 10,456	△ 10,408	△ 7,033
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	38,107,825	39,470,828	△ 46,530,051	33,378,688	7,368,653	△ 3,503,233
売 買 益	58,837,450	62,110,195	3,463,096	33,956,481	7,687,592	14,327,214
売 買 損	△ 20,729,625	△ 22,639,367	△ 49,993,147	△ 577,793	△ 318,939	△ 17,830,447
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,562,893	△ 1,653,477	△ 1,464,535	△ 1,310,398	△ 1,416,028	△ 1,315,968
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	61,084,116	61,669,257	△ 28,003,188	51,043,988	24,882,858	13,825,023
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 1,035,801,067	△ 954,418,112	△ 771,139,558	△ 775,665,864	△ 717,134,802	△ 679,408,490
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 326,008,736	△ 317,997,537	△ 280,598,901	△ 271,390,822	△ 267,437,858	△ 261,747,259
(配当等相当額)	(218,040,760)	(212,512,907)	(186,714,796)	(180,464,808)	(177,763,674)	(173,936,676)
(売買損益相当額)	(△ 544,049,496)	(△ 530,510,444)	(△ 467,313,697)	(△ 451,855,630)	(△ 445,201,532)	(△ 435,683,935)
(G) 計 (D + E + F)	△ 1,300,725,687	△ 1,210,746,392	△ 1,079,741,647	△ 996,012,698	△ 959,689,802	△ 927,330,726
(H) 収 益 分 配 金	△ 7,552,835	△ 7,345,795	△ 6,341,501	△ 6,113,634	△ 6,006,554	△ 5,854,017
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 1,308,278,522	△ 1,218,092,187	△ 1,086,083,148	△ 1,002,126,332	△ 965,696,356	△ 933,184,743
追 加 信 託 差 損 益 金	(326,008,736)	(317,997,537)	(280,598,901)	(271,390,822)	(267,437,858)	(261,747,259)
(配当等相当額)	(218,040,760)	(212,512,907)	(186,714,805)	(180,464,808)	(177,763,674)	(173,936,677)
(売買損益相当額)	(△ 544,049,496)	(△ 530,510,444)	(△ 467,313,706)	(△ 451,855,630)	(△ 445,201,532)	(△ 435,683,936)
分 配 準 備 積 立 金	476,475,212	478,855,658	422,442,409	419,197,876	423,306,405	423,360,291
繰 越 損 益 金	△ 1,458,744,998	△ 1,378,950,308	△ 1,227,926,656	△ 1,149,933,386	△ 1,121,564,903	△ 1,094,797,775

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
(a) 費用控除後の配当等収益	23,934,248円	23,236,412円	18,533,119円	18,507,582円	17,917,339円	17,335,375円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	—	—	—	—	—	—
(c) 収益調整金	218,040,760	212,512,907	186,714,805	180,464,808	177,763,674	173,936,677
(d) 分配準備積立金	460,093,799	462,965,041	410,250,791	406,803,928	411,395,620	411,878,933
(e) 分配可能額 (a+b+c+d)	702,068,807	698,714,360	615,498,715	605,776,318	607,076,633	603,150,985
1万口当たり分配可能額	2,323	2,377	2,426	2,477	2,526	2,575
(f) 分配金額	7,552,835	7,345,795	6,341,501	6,113,634	6,006,554	5,854,017
1万口当たり分配金額(税引前)	25	25	25	25	25	25

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
	25円	25円	25円	25円	25円	25円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	メキシコ・ボンド・ファンド（ディストリビューションクラス）
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）
主要投資対象	メキシコの債券等
運用の基本方針	主として、メキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。メキシコペソ建て以外の債券等に投資する場合は、実質的にメキシコペソ建てとなるよう為替取引を行います。また、外貨建資産については、対円での為替ヘッジは行いません。
ベンチマーク	ありません。
主な投資制限	・投資信託証券への投資は純資産総額の5%以下とします。ただし、上場投資信託証券（ETF、REIT等）は除きます。 ・非流動性資産への投資は、取得時において純資産総額の15%以下とします。
決算日	原則として毎年10月31日
分配方針	毎月15日（休業日の場合は前営業日）に分配を行う方針。ただし、分配を行わないことがあります。
運用報酬等	純資産総額に対して年0.64% ＊年間最低報酬額等と純資産総額との関係により、上記の料率を上回る場合があります。
管理およびその他の費用	ファンドの設立、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資顧問会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッド
副投資顧問会社	アクシオネス・イ・バローレス・バナメックス（Acciones y Valores Banamex S.A. de C.V., Casa de Bolsa）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「メキシコ・ボンド・ファンド（ディストリビューションクラス）」をシェアクラスとして含む「メキシコ・ボンド・ファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 包括利益計算書(2017年11月1日から2018年10月31日まで)

	(千円)
受取利息	235, 581
損益を通じて公正価値評価される金融商品にかかる純損失	(360, 356)
純為替差損	(9, 761)
損失合計	<u>(134, 536)</u>
管理報酬	(18, 514)
事務代行、名義書換代理人および保管報酬	(2, 294)
監査報酬	(3, 637)
銀行手数料	(13)
専門家報酬	(337)
雑費	(54)
受託報酬	(1, 300)
支払利息	(24)
財務諸表作成費用	(443)
営業費用合計	<u>(26, 616)</u>
税引前および金融費用控除前営業損失	(161, 152)
受益証券保有者への分配金	(344, 200)
税引前損失	(505, 352)
源泉徴収税	(4, 512)
営業による受益証券保有者に帰属する純資産の変動額および当期包括利益合計	<u>(509, 864)</u>

メキシコ債券ファンド（毎月分配型）【愛称：ラ・バンバ】

■ 組入銘柄

(2018年10月31日現在)

銘柄名	債券種別	利率	償還日	組入比率
MEXICAN BONOS MBONO 7 1/2 06/03/27	国債	7.50%	2027/6/3	20.1%
ARCAMZ 5.88% 10MAR2023	社債	5.88%	2023/3/10	9.4%
BBVA BANCOMER SA BBVASM 7.83 08/24/20	社債	7.83%	2020/8/24	8.9%
MEXICAN BONOS MBONO 7 3/4 05/29/31	国債	7.75%	2031/5/29	7.2%
MEXICAN BONOS MBONO 7 3/4 11/13/42	国債	7.75%	2042/11/13	6.4%
SCOTIAB 13-2	社債	7.30%	2023/6/16	6.1%
MBONO 8.5% 18NOV2038	国債	8.50%	2038/11/18	6.0%
MBONO 10% 20NOV2036	国債	10.00%	2036/11/20	5.9%
MBONO 8.5% 31MAY2029	国債	8.50%	2029/5/31	4.5%
MEXICAN BONOS MBONO 7 3/4 11/23/34	国債	7.75%	2034/11/23	4.2%
EL PUERTO LIVERP LIVEPL 8.53 05/19/20	社債	8.53%	2020/5/19	3.6%
PETROLEOS MEXICA PEMEX 9.1 01/27/20	社債	9.10%	2020/1/27	3.3%
TOYOTA17-3	社債	7.87%	2022/8/29	3.1%
MBONO 10% 05DEC2024	国債	10.00%	2024/12/5	2.8%
KIMBERLY-CLA MEX KCMA 7.17 10/29/20	社債	7.17%	2020/10/29	2.6%
MEXICAN BONOS MBONO 8 11/07/47	国債	8.00%	2047/11/7	2.0%
GPO AEROPUER CEN GACENO 6.85 06/07/21	社債	6.85%	2021/6/7	1.7%
EMBOTELLAD ARCA ARCAMX 7.74 11/13/20	社債	7.74%	2020/11/13	1.1%
MEXICAN BONOS MBONO 5 3/4 03/05/26	国債	5.75%	2026/3/5	1.0%

※比率はポートフォリオに対する割合です。

※シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドからのデータ提供を受けて三井住友DSアセットマネジメントが作成しています。

マネー・オープン・マザーファンド

第7期 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2012年7月27日)
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率		
3期 (2015年3月2日)	10,021	0.1%	98.6%	75
4期 (2016年3月1日)	10,025	0.0	83.9	75
5期 (2017年3月1日)	10,016	△0.1	69.8	75
6期 (2018年3月1日)	10,009	△0.1	72.4	75
7期 (2019年3月1日)	10,002	△0.1	72.4	75

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

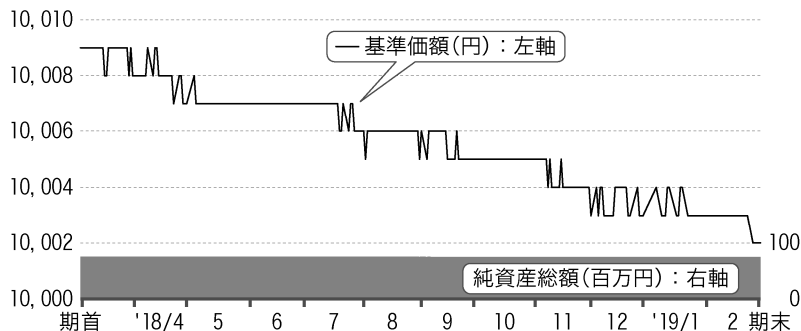
年月日	基準価額		債券組入率
	円	騰落率	
(期首) 2018年3月1日	10,009	0%	72.4%
3月末	10,008	△0.0	72.3
4月末	10,007	△0.0	72.5
5月末	10,007	△0.0	72.4
6月末	10,007	△0.0	72.3
7月末	10,006	△0.0	72.5
8月末	10,006	△0.0	72.4
9月末	10,005	△0.0	72.4
10月末	10,005	△0.0	72.3
11月末	10,003	△0.1	72.4
12月末	10,003	△0.1	72.4
2019年1月末	10,003	△0.1	72.3
2月末	10,002	△0.1	53.6
(期末) 2019年3月1日	10,002	△0.1	72.4

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

基準価額等の推移



期首	10,009円
期末	10,002円
騰落率	-0.1%

▶ 基準価額の主な変動要因 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当期の短期金利は小幅上昇しましたが、マイナス圏での推移は継続しました。

物価上昇率が目標とする2%まで乖離がある状態が続いたことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

日銀は需給動向を勘案しながら短期国債の買入れを調整したことから、国庫短期証券3ヵ月物利回りはマイナス圏でのレンジ推移となりました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.200%に対し、期末には-0.180%へ小幅上昇しました。

▶ ポートフォリオについて (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月の円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを継続しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏で推移しています。

残存0年から1年3ヵ月の公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.009% (0.009)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.009	

期中の平均基準価額は10,005円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特 殊 債 券	千円 54,813	千円 - (54,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2018年3月2日から2019年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2019年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示／国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	千円 54,000 (54,000)	千円 54,480 (54,480)	% 72.4 (72.4)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 72.4 (72.4)
合 計	54,000 (54,000)	54,480 (54,480)	72.4 (72.4)	— (—)	— (—)	— (—)	72.4 (72.4)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

B 個別銘柄開示／国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期		末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	第5回 政府保証阪神高速道路債券	%	千円 14,000	千円 14,196	2020/3/18
	第8回 政府保証地方公営企業等金融機構債券	1.3	12,000	12,042	2019/5/24
	第95回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.5	14,000	14,143	2019/12/27
	第3回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.2	14,000	14,099	2019/8/16
合 計		—	54,000	54,480	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2019年3月1日現在)

項 目	期		末	
	評 価 額	比	評 価 額	率
公 社 債	千円 54,480	% 60.9		
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	34,916	39.1		
投 資 信 託 財 産 総 額	89,396	100.0		

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年3月1日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	89,396,861円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	34,735,145
公 社 債 (評 価 額)	54,480,980
未 収 利 息	180,736
(B) 負 債	14,197,033
未 払 金	14,196,700
未 払 利 息	28
そ の 他 未 払 費 用	305
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	75,199,828
元 本	75,182,674
次 期 繰 越 損 益 金	17,154
(D) 受 益 権 総 口 数	75,182,674口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,002円

※当期における期首元本額75,202,622円、期中追加設定元本額21,899,061円、期中一部解約元本額21,919,009円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

アジア・ハイイールド債券ファンド毎月分配型 (通貨アクティブヘッジコース)	8,100,949円
メキシコ債券ファンド (毎月分配型)	9,994,004円
メキシコ債券ファンド (資産成長型)	4,997,002円
日興エドモンドゥ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド	29,982,011円
SMBC・日興資産成長ナビゲーション	2,798,587円
アジア・ハイイールド債券ファンド毎月分配型 (ヘッジなしコース)	29,944円
三井住友・グローバルC B戦略ファンド (為替ヘッジあり)	419,777円
三井住友・グローバルC B戦略ファンド (為替ヘッジなし)	299,837円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド (為替ヘッジなし)	1,589,191円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド (限定為替ヘッジ)	269,851円
あしぎん世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-02	619,672円
あしぎん世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-05	969,499円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-05 (為替ヘッジあり)	1,759,104円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-05 (為替ヘッジなし)	529,719円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-09 (為替ヘッジあり)	5,797,087円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-09 (為替ヘッジなし)	409,781円
あしぎん世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-09	1,039,466円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-12 (為替ヘッジあり)	5,027,477円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-12 (為替ヘッジなし)	549,716円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2018年3月2日 至2019年3月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	767,137円
受 取 利 息	782,355
支 払 利 息	△ 15,218
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 810,520
売 買 損 益	△ 810,520
(C) 信 託 報 酬 等	△ 6,565
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 49,948
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	67,122
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	10,939
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 10,959
(H) 計 (D + E + F + G)	17,154
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	17,154

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

一般社団法人投資信託協会規則の「信用リスク集中回避のための投資制限」に適合するよう、所要の変更を行いました。(適用日：2018年3月23日)